

タイビン火力発電所 建設工事



東亜建設工業株式会社 国際事業部 タイビン工事事務所 所長

浅井克友

Katsutomo Asai



タイビン火力発電所全景



陸上土工事と各種構造物の建設が同時進行中。



揚炭栈橋、奥が杭打ち工事、手前が上部工。



世界で活躍する日本の建設企業

ベトナム国タイビン省の紹介

ベトナムは大陸部東南アジア（インドシナ半島）の東端に位置し、南北に一、六五〇キロメートルの細長い国土を有している。

本プロジェクトの施工場所であるタイビン省はベトナム北部の红河デルタ地域に位置し水田稲作が盛んな穀倉地帯であり、米を二期作で生産している。国土のほとんどが山地であるベトナムで唯一山がない平坦な省で、タイビンは漢字で「太平」と書き、文字通り平和のどかな田園風景が広がる地域である。

プロジェクトの紹介

本プロジェクトは、ベトナム北部の首都ハノイ市より南東へ約一〇〇キロメートルに位置するタイビン省タイトウイ県チャーリー川河口の左岸約五〇〇ヘクタールの土地に、総出力六〇〇メガワットの石炭火力発電所を建設する工事である。完成時の二〇一八年には、同国北部における最大電力需要（約一五ギガワット）の四割相当の電力を供給することが可能となる。

ベトナム電力公社（国営電力グループ）から丸紅株式会社がフルターンキーでEPC契約をされており、当社は、その内の土木建築工事（土工事）一式を担当している。

工事概要

二〇一四年三月に工事が着手し、最初に発電所エリア全体の地盤改良工事を実施した。次に杭打ち工事及び陸上土建構造物の築造工事に入る。まず火力発電所の心臓部であるタービン発電機基礎及び建屋の地下工事を開始し、続いてボイラー、石炭バンカー、電気集塵機、排煙脱硫装置、煙突、水処理・排水処理施設、石炭搬送施設及び貯炭場といった発電プラント施設の主要



手前左側から発電所の心臓部であるタービン発電機建屋、その後ろが石炭バンカー、ボイラー、煙突、貯炭場。右側は水処理・排水処理施設。

構造物を築造し、同時に石炭、石灰岩、重油荷揚げ用の海上栈橋工事を陸上工事と並行作業で実施している。

発電所工事では、発電プラント施設用の各種構造物や建屋等を、土建業者からプラント機器据付業者へ引き渡すマイルストーンが細かく決められており、陸上及び海上の大小構造物は広範囲に渡っての同時施工となるため、経験を基に

した綿密な施工計画による工程管理、品質管理が重要である。

更に工期途中から参画するプラント機器据付業者との多岐に及ぶ調整業務をマネージメント出来る技術者の配置が不可欠であり、当社では発電所工事経験者を現場組織の中心に据え、建築・土木の垣根なくチームT.O.Aとして職員全員で現場を運営している。

現在は、外構工事を概ね完了し、二〇一八年四月の完成引き渡しを目指している。

終わりに

当社は発電所建設工事を海外注力事業の一つと位置付け、東南アジアにおいて数多くの発電所建設に携わってきた経験と技術力、ベトナムでは既に四件の施工実績を有しており、本工事が五件目となる。

最近では、現地発注者の工程・品質・安全衛生環境に関する要求基準が一段と高くなっているが、同国にて長年培ってきた経験と技術力、現地企業との信頼関係や現地スタッフの育成に重点を置きながら、安全を最優先に工事を進めている。

工事は終盤に入っているが、完工まで気を抜くことなく、発注者の期待に応えようと共に、同国の更なる発展に貢献していきたい。